

図書館利用指導

5年 年鑑を使おう

- ・ねらい
 - 年鑑の特製や構成などについて理解し、目次や索引を使って調べることができる。
 - 統計の表の読み方について、調査者、調査年、単位などに気をつけて調べることを知る。

- ・準備
 - 年鑑（2. 3人に1冊） 用語を書いたカード（年鑑、学習編、統計編、目次、索引、大項目、中項目、小項目、キーワード、調査者、調査年、単位） ワークシート、実物投影機、プロジェクター

- ・流れ

学習の流れ	指導のポイントと支援	時間
1. 今まで調べ学習で使ってきた資料を振り返る。 ○知りたいことを調べるのに今までどんな資料を使ってきましたか。 ・花の名前 植物図鑑 ・言葉の意味 国語辞典 ・分からないこと 百科事典 ○日本の人口を知りたいときには何を使ったらいいでしょう。 「年鑑」	○子どもたちの発言に合わせて実際の資料を提示していく。	5分
2. 年鑑について知る。 ○前年の主なできごとやいろいろなものの統計がまとめられていて毎年作られているものです。 ○学習編と統計編にわかれています。 ○分類番号は0類です。	○「朝日ジュニア百科年鑑2009」を紹介し、2008年のできごとや統計が載っていることを知らせる。 ○学習編には1年間の主なできごとや、学習に役立つことが特集されていること、統計編には日本・世界の統計や都道府県や世界の国々に関すること等の内容を紹介する。 ○ポプラディアなどと同じ棚にあることを知らせる。	5分
3. 年鑑の使い方を知る。 ○年鑑には図鑑と同じように目次と索引があります。	○場所を知らせながら目次と索引の使い方について学習する。大切な用語については	10分

<p>○目次から調べてみましょう。</p> <p>○索引から調べてみましょう。</p> <p>4. 実際に年鑑を使って調べる。 ○実際に年鑑を使って調べてみましょう。</p> <p>5. 学習を振り返る。 ○学習を振り返って感想を書きましょう。</p>	<p>カードで提示する。</p> <p>○実物投影機を使って場所を示しながら、日本の小学生の人数について一緒に調べる。 (大項目から中項目、小項目へと順に絞り込んでいく。教育→学校と進学率→学校・先生・生徒の数) (キーワードで調べていく。学校・教育)</p> <p>○調査者、調査年、単位についてもふれ、統計資料はより新しい情報であることが大切だということを確認する。</p> <p>○ワークシートを使って実際に調べる。(年間は二人に1冊)</p> <p>○調べられているか個別に支援する。</p> <p>○目次、索引のどちらからでも調べられるように助言する。</p>	<p>20分</p> <p>5分</p>
--	---	----------------------